

経営体の概要

- ・所在地：愛媛県大洲市
- ・経営体名：幸野観光なし園
- ・栽培作物・作付面積：なし 3ha、もも 0.4ha、キウイフルーツ 0.1ha
- ・従業員数：常時雇用 2 人、臨時雇用 3～4 人（令和 6 年 5 月現在）

導入技術

- ・ロボット草刈機（和同産業(株)製「ロボモア」）
 - 設定したエリア内を自動で走行し、草刈りを行う。
 - スマートフォンからBluetoothで指示を送ることが可能。
 - バッテリー残量が少なくなると自動で充電ステーションに帰還する。
 - 超音波センサーで障害物を検知し、方向転換。



図1 充電中のロボット草刈機



図2 下草が低く保たれたなし園地

導入経緯

- 広大な園地での果樹栽培では、多大な労働力を必要とする。
- そこで、草刈りの自動化による作業効率向上を試みた。
- 令和 4 年度にデモ機の使用体験を 1 カ月半ほど実施し効果を確認した後、年度内に導入。

取組の特徴・効果

- 観光農園として開放するなし園地を対象として、下草の維持管理に活用。
- 現在はエリアを 2 カ所に増やし、本体 1 台を交互に移動させることで、2 倍の範囲で稼働している。



- 草刈りの作業が格段に減ることで、労働時間の削減につながり、生産性が向上した。
- 常に草丈が低く維持されるため、作業性が向上。
- 副次的効果として、草丈が均一に刈られることによる美観形成が、来客者に評判となった。
- 地域への普及につなげようと、果樹を栽培する青年農業者の視察も受け入れている。